

学年	高校2年	教科	地歴公民	科目	政治経済	単位数	5
教科書名	詳述 政治・経済 (実教出版)			副教材名	2026 ズームアップ 政治・経済資料 (実教出版) 20日完成スピードマスター政治・経済問題集 (山川出版) 政治・経済用語集 (山川出版)		
コース・クラス	進学コース 選抜クラス 文系						

I 目標

1. 3年次の基礎学力到達度テストに対応できる実力を養う。
2. 民主主義の本質を理解し、広い視野から政治・経済・国際関係について客観的に理解する力を身につける。
3. 政治・経済・国際関係などに関する諸課題について主体的に考察し、解決策を探究する。
4. 公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

II 授業のねらい

1. 日本が直面している国際問題を扱い、自分たちの身近な問題として捉えさせ、日本の立場、解決策を考える。
2. 様々な出来事に歴史的・政治的背景があることを理解させ、物事を多面的に捉える力を身につける。
3. 進路目標に即した問題演習を行うことで、各コースの目標進路に対応できる学力を目指す。

III 授業の進め方

1. 毎時間、冒頭に時事問題を取扱い、世の中の動きをつかむ。
2. 板書を軸とした講義に加え、電子黒板や図表も活用し、効率的に授業を進める。
3. DVDや図表を効果的に活用し、視覚から理解を深める。
4. 小テストを実施し、理解度を確認すると共に、単元ごとに基礎学力到達度テストレベルの問題を解く。

IV 学習上の留意点

1. 現代社会における事象への関心・意欲を高めるような内容を授業に盛り込むこと。
2. 用語の暗記のみではなく、様々な事象と関連付けて覚えること。
3. 板書の書き写しだけではなく、口頭での説明を細かくメモし付随する知識も身につけること。

V 定期試験

- | | | | |
|-----|-------|-----|----------------------------------|
| 1学期 | 中間試験 | 第1編 | 第1章 (政治と法) ~第2章 (平和主義) |
| 1学期 | 期末試験 | 第1編 | 第2章 (基本的人権の保障) ~第3章 (地方自治) |
| 2学期 | 中間試験 | 第1編 | 第4章 (戦後政治の歩み) ~ (国民所得と経済成長) |
| 2学期 | 期末試験 | 第2編 | 第2章 (金融のしくみ) ~第3章 (社会保障の役割) |
| 3学期 | 学年末試験 | 第2部 | 第1章 (人権の広がり) ~第2章 (経済協力と人間開発の課題) |

VI 評価の方法

1. 各学期の定期試験
2. 小テスト
3. 課題提出

VII 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	第1部 現代日本における政治・経済の諸課題 第1編 現代日本の政治 第1章 民主政治の基本原則 1. 政治と法 2. 民主政治と人権保障の発展	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの実施 ・中間試験の実施 ・小テストの実施 ・期末試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・人権の意義、法の支配、民主政治の発達、世界の政治体制、20世紀の教訓を学習し、民主政治の課題は何かを考える。 ・日本国憲法の成立、平和主義、人権の保障の内容を学習し、今日における日本国憲法の意義を理解する。安保体制に関する問題は難易度が高いが、時代ごとの内容の変化をしっかりと把握する。 ・国会、内閣、裁判所、地方自治のしくみを学習し、民主主義がどのように実現されているか理解する。 ・法の支配、日本国憲法、平和主義、人権についての入試問題を解き、理解を深める。 ・政府や日本銀行による金融、財政の役割を多角的に捉え、日本の景気調整などについて理解する。
	5	3. 国民主権と民主主義の発展 4. 世界の政治制度 第2章 日本国憲法の基本的性格 1. 日本国憲法の成立 2. 平和主義 3. 基本的人権の保障 4. 人権の広がり		
	6	第3章 日本の政治機構 1. 立法 2. 行政 3. 司法 4. 地方自治		
	7			
二学期	9	第4章 現代日本の政治 1. 戦後政治の歩み 2. 選挙制度 3. 政治参加と世論 第2編 現代日本の経済 第1章 経済社会の変容 1. 経済活動の意義 2. 経済社会の形成と変容 第2章 現代経済のしくみ 1. 市場機構 2. 現代の企業 3. 国民所得と経済成長 4. 金融のしくみ 5. 財政のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの実施 ・中間試験の実施 ・小テストの実施 ・期末試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・資本主義経済の発達と変容、その特徴について学習し、経済活動の意義と経済のグローバル化が生活に及ぼす影響について考える。 ・社会主義経済の成立と崩壊について理解する。 ・経済主体、市場、国民所得、経済成長を学習し、経済活動がどのように調整されているか考える。また、需給曲線がどのように動くか理解する。 ・政府や日本銀行による金融、財政の役割を多角的に捉え、日本の景気調整などについて理解する。 ・国内の政治、経済についての入試問題を解き、出題傾向等を理解する。 ・中小企業、農業、国民の生活、環境・公害、労働問題、社会保障等、多様な課題への取り組みを考える。
	10	第3章 現代経済と福祉の向上 1. 経済の停滞と再生 2. 日本の中小企業と農業 3. 国民の暮らし 4. 環境保全と公害防止 5. 労使関係と労働条件の改善 6. 社会保障の役割		
	11			
	12			

三 学 期	1	第2部 グローバル化する国際社会の諸課題 第1章 現代の国際政治 1. 国際政治の特質と国際法 2. 国際連合と国際協力 3. 現代国際政治の動向 4. 核兵器と軍縮	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストの実施 ・期末試験の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・国際法の変遷や国際連合の特徴、冷戦終結後の国際政治等の戦後史を知るとともに、現代の国際社会が抱える諸課題について考察を深める。 ・核軍縮や管理について、国際社会における取組と日本の貢献について考える。 ・国際紛争や難民問題発生 of 歴史的背景を知り、複雑に絡みつく国家間の対立の理由を理解する。 ・戦後、日本が果たしてきた国際政治上の役割を知り、今後の多様化する世界にどのように対応していくべきか考察する。 ・国際経済体制の変化について考える。戦後の国際秩序の変化に関わる諸問題を理解する。 ・国際政治、時事問題についての入試問題を解く。
	2	5. 国際紛争と難民 6. 国際政治と日本 第2章 現代の国際経済 1. 商品・資本の流れと国際収支 2. 国際経済体制の変化 3. グローバル化と世界金融		
	3	4. 地域経済統合と新興国の台頭 5. 地球環境とエネルギー 6. 経済協力と人間開発の課題		

※ シラバスの内容については、進捗状況、理解度、その他の都合により変更する場合がある。